

## 学校適正規模に向けた取組内容と課題

学校規模	本検討委員会の意見等	取組内容	課題
小規模校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校施設の老朽化、通学距離を踏まえて統合を検討する必要がある</li> <li>・ 通学区域と児童・生徒数のバランスを考慮し統合を進められるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣の学校との統合により、小規模化を解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の理解と協力の下、取組を進めることが重要</li> <li>・ 児童・生徒の環境変化が大きい</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校の通学区域を変更し、入学者数を調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区全体の児童・生徒数の減少が進む中、通学区域の変更だけでは適正規模の維持は困難</li> </ul>
大規模校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模マンション建設により児童・生徒数が急増するが、その後減少する傾向にある</li> <li>・ 近隣校の児童・生徒数が減少している状況下であれば、通学区域を変えていく必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模校の通学区域を変更し、入学者数を調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再開発エリアの位置関係上、通学区域の変更だけでは適正規模の維持が困難な場合がある</li> </ul>